

安政七御取締出役廻状写积文

(盗人探索)

(表紙) p1 0022

安政七年申年 十一月廿一日 (1860年)

御取締出役様廻状ヲ以被仰渡候写

p2 0023

覚

- ・木綿茶淵藍縞男袷袴枚
  - ・同 男単もの袴枚
  - ・脂茶弁慶嶋男半天袴枚
  - ・小納戸木綿半合羽袴枚
  - ・紺木綿股引 袴足
  - ・木綿茶格子つはくろ口袴枚
- 右品当十月廿七日夜被盜取候

・木綿紺浅黄横縞嶋夜着袴ツ

p3 0024

組唐草半廻り掛有之

- ・同鉄色羽織袴枚
  - ・同横縞女袷半天袴枚
  - ・めいせん古帯袴筋
  - ・木綿古襦袢袴ツ
  - ・同白地縞嶋古女単物袴ツ
  - ・同紺糸入瀧縞男綿入袴ツ
  - ・同茶縞半天袴ツ
- 右ノ品当十月六日被盜取候分

\*縞柄の一種、太い筋から次第に細い筋になっていく縦縞。

・結城嶋木綿茶糸入縞嶋男綿入袴枚

・木綿藍淵□嶋合羽袴枚

但し裏浅黄海□

・棧留茶縞女羽織袴枚

\*インドのコロマンデル地方の異名。サントメから渡来した縞織の綿布。後縞嶋で赤又は浅黄の混じったものを称した。

・絹小紋単羽織袴枚

・木綿紺白大名嶋男袷袴枚

・紺薄多男帯袴筋

・藍紬茶糸入立縞女綿入袴枚

但しうら花色木綿

・今織茶縞女綿入袴枚

p4 0025

・縮緬鼠縞女単物袴枚

・青梅茶三筋縞女単物袴枚

・青梅絞襦袢袴枚

・青梅縞端物袴反

・木綿大名縞端物袴反

・同紺茶浅黄縞端物袴反

右品当月十一日夜被盜取候分

・黒入丈女帯袴筋

・黒糸織男帯袴筋

・茶縞女袷袴枚

・茶縞男単物袴枚

・紺三筋嶋反物袴反

・木綿縮白糸入嶋単物袴枚

・茶みちん縞男口綿入壺枚

\*微塵縞・経緯ともに二色の糸を交互に織った細かい縞。

・紺白やたら嶋男単物壺枚

\*矢鱈縞・縞模様の間隔や色の配列が不規則に織られたもの。残糸を用いて織ったものが多い。多く堅嶋。(日国大辞典)

・木綿茶堅縞半天壺枚

・茶羽形男帯壺筋

D 5 0026

・紺鼠格子縞男単物壺枚

・結城替縞男口綿入壺枚

・藍みちん縞男口綿入壺枚

・茶格子縞女袷壺枚

右品当十月十三日夜被盜取候分

・こん無字男綿入壺枚

・同茶堅嶋男袷壺枚

・紺茶堅嶋男単物壺枚

・皮提煙草入壺ツ

但し根付錫にてまんちう形龍之細工あり

右品当九月廿七日夜被盜取候分

右品之義逢盜難候趣夫々より申出候間

其村々組合内質屋共古着や共之内にて買取

亦は質ニ取置候者有之候は其段保土ヶ谷宿

詰所江密々可申出若亦此後右品々致

持来候者有之候ハ、買取候か質ニ取候者

其段早々同所江是又密々可申出候

此廻状以刻付ヲ順達泊村より可被相返候以上

申十一月十九日

關東御取締出役

中嶋進六印

石井権之助印

戸塚宿

寄場役人 中

大小惣代

(了) 令和3年12月 青葉区古文書之会わりいし